

「地域教材を取り入れた 6 年生社会科の歴史学習」

I 研究の内容

教科書はあくまでも中央の歴史的事実であり、あるいは典型例が掲載される。その歴史的な事実が、自分の生活する地域にもつながっていることを知ると、子どもたちは学習への意欲や関心を高めていく。また我が国の歴史と地域史を比較・関連づけさせることで多面的な見方、複眼的な思考を育てることにもつながる。小学校 6 年社会科歴史学習は 65 時間設定されている。65 時間の授業全てにおいて山梨県・峡東・甲州市・山梨市など地域に関わる史実を調べ、教科書に関わる地域資料 65 時間分の指導資料を作成した。

II 研究の成果と課題

今年度、山梨大学の社会科へ内留生として 1 年間、服部准教授の指導・助言のもとで研究してきた。社会科教育の方法、歴史に対する見方、地域史などである。甲州市や山梨市は文化財の宝庫で、峡東地域は昔から歴史的にも重要な役割を背負っていた。例えば武田信虎以前は峡東地域が政治の中心的な役割を果たしていた。東山梨郡の土地は他郡に比べ、地味がよく、土地生産性が極めて高かったからである。さらに江戸時代、甲斐国内の寺子屋数は 9 郡中、東山梨郡がトップであった。江戸時代から既に東山は教育熱心であったのである。ちなみに千野村付近に寺子屋が多く分布し、塩山の中心だったといえる。奥野田村の寺子屋の先生は農家の女性であり、寺子屋で学ぶ児童も男子ばかりでなく女子が学ぶことも珍しいことではなかった。このように調べていくことで今までとは違うイメージとして我が国の歴史をあるいは地域をとらえ直すことができた。

III 成果物

内容によって 1 時間の授業が地域史の授業、教科書教材の内容に地域教材が少し入り込む授業、教科書と地域教材を比較・関連させる授業、地域史を教科書で調べる授業などがある。あるいは単元構成を山梨→我が国の歴史、我が国の歴史→山梨ということもできる。それらを一覧表にしてみた。また 65 時間分の地域資料は紙面の都合上ここでは割愛する。

◎社会科地域資料を取り入れた 1 時間の授業構成表

	地域学習の手段化 地域学習の比重少	地域学習の手段化・目的化 地域学習の比重中	地域学習の目的化 地域教材の比重多
地域教材を 入り口に (導入)	導入が 地域教材 ↓ 早く 教科書教材 へ 例：山梨の巨大古墳を提示のみ	導入が 地域教材 ↓ 教科書 で調べる、 比較 する、 類推 する 例：大小切騒動から明治政府の対応は？	導入から 地域教材 ↓ 終末まで 地域教材 終末、 教科書 で確認 例：山梨の縄文遺跡や出土品などから暮らしを考える
地域教材を 教科書の中 に	地域教材 ↓フラッシュ的に 教科書教材 に 例：文明開化の建築について教科書の開智学校の写真ではなく藤村式学校の写真を提示	地域教材 ↓↑類推・比較する 教科書教材 ↓ ↑ 比較 同じころの山梨の弥生遺跡	地域教材 ↓↑地域を教科書の流れで展開 ↓↑表、グラフ等山梨に置換 教科書教材 例：単元の導入東京大空襲を甲府大空襲として扱う
地域教材を 後半に (発 展的に)	導入から終末まで 教科書教材 ↓ 概念化 終末に 地域教材 例：山梨の場合はどうだったのか簡単に写真等提示や補足説明	前半教科書教材 ↓ 後半地域教材 例：貴族の暮らし ↓ 貴族は山梨をどう思っていたのか？	導入で少し 教科書教材 または予め読ませておく ↓ 概念化、枠組みを使って 最後まで 地域教材 あるいは 1 時間 地域教材 例：前時教科書で文明開化を学習後、山梨の場合を 1 時間学習

(国内大学留學生 那須栄樹)